

第 18 回京都市建築物安心安全実施計画推進会議（全体会議） 摘録

■ 開催概要

- 1 日 時 令和 6 年 8 月 6 日（火） 午後 2 時から 3 時 3 0 分まで
- 2 場 所 京都市役所分庁舎 4 階 第 4・5・6 会議室
- 3 出席者 4 2 名（内 5 名オンライン）

■ 要旨

1 開会

あいさつ【都市計画局 建築技術・景観担当局長】

2 第 1 部

これまでの取組と施策の達成状況について

【意見等】

○ 京都府建築士会

定期報告の報告率及び是正の状況を知りたい。

○ 京都市

定期報告の報告率は上がっているが、依然是正項目が残っている案件もある。是正を促進するため、市として査察等を行っている。併せて実効性を高めるため、提出内容に関する公開も検討している。

3 第 2 部

令和 5 年度の実績と令和 6 年度の実績について

(1) 親子を対象とした建築物のバリアフリーに関する啓発事業の実施について

【意見等】

○ 京都府建築設計監理協会

本取組には自分も参加した。参加者は生き生きと学んでいた。今後もこうした活動を継続してほしい。可能であれば夏休みの時期に実施できると良いと思う。

(2) 安心・安全な住宅ストック形成手法の検討について

【意見等】

特になし

(3) 建築物の火災安全研修について

【意見等】

○ 京都府設計監理協会

賃貸ビルを経営している団体・協会などへ直接的な呼びかけをしてはどうか。

○ 京都市

ビル管理事業者の団体等を通じて、情報を提供している。

○ 京都府設計監理協会

敷地の状況にもよるが、既存の建物に屋外階段を設置して2方向避難を確保するのは困難なケースが大半。その場合は間仕切壁等の改善を推し進めていけばいい。防火区画に不備がある建物については、定期報告で把握すれば安全対策の実施に繋がると考える。

○ 京都市

実際に行われた事例や改修方法について、この会議でも情報提供等をいただき、対策に繋がるものについて発信していきたい。

○ 西野委員

令和6年度の取組モデルは非常に重要かつ類例のない先駆的な取組であり、他の地域にも大きな波及効果があると思う。こうした取組を実現するためには本会議を中心とした関係者の協力支援が不可欠であり、私の立場からも可能な限り協力していきたい。

○ 京都市

本事業は国から資金支援いただいている。他都市もセミナーに興味を示されている。こうした取組が京都市のみならず全国的にも進むよう、皆様からの知恵やアドバイスをいただきながら進めたい。

以上